

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)【令和6年7月15日・21日開催】

NO	テーマ	提案内容	提案への取り組み方針	担当課
1	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	子どもにも伝わるように、学校の教育や今の社会に合った内容を絵や写真をうまく使ってみてはどうか。	広報紙の紙面を文字だけではなく絵や写真を使って、視覚的にわかりやすい広報紙になるよう努めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
2	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	スマートフォンでホームページに掲載された広報紙を見たときに見にくい。	スマートフォンの環境によって見にくい場合もありますが、より見やすい環境にできる掲載方法があれば取り入れていきます。なお、カタログポケット(アプリ)であれば、紙面の拡大等もできるので、より読みやすい広報紙をご覧いただくことが可能です。 詳しくは市ホームページの「カタログポケット」のページをご覧ください。 https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/apiruka/osirase/16475.html	広報・協働推進室いずみアピール担当
3	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	市PTA協議会でもホームページを作ったので、QRコードを広報紙に掲載してもらうなどできれば、お互いに見てもらう機会が増えて良いのではないかと思います。	「広報いずみ」は、市からのお知らせ等を発信するための媒体ですので、市PTA協議会のホームページ案内に掲載することは困難ですが、市PTA協議会の活動を紹介する記事の掲載など、関連する記事を掲載することで相互に効果が見込まれる場合などがあれば、対応を検討します。	広報・協働推進室いずみアピール担当
4	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	LINEでごみの通知がくるのが助かっている。	LINEのみならず、ごみ分別アプリにも通知機能があり、ごみ出しや分別等に関する情報を発信することで市民の利便性向上に繋げていきたいと考えてます。	環境政策室生活環境担当
5	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報紙の見出しが色分けされていて見やすい。カタログポケットで多言語に対応しているとのことで、和泉市の外国人の方に優しい広報紙で良いと思いました。	カタログポケット(アプリ)を更に活用してもらえるように、周知を進めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
6	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	デジタルの時代にはなっているが、広報紙は紙もデジタルもどちらも必要だと思う。アナログ・デジタルのどちらでも上手く情報を受け取れるようにしていくことが大切だと思う。	デジタル媒体・紙媒体のどちらかに限定することなく、受け取り手のニーズに応じた情報発信を行っていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
7	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	北部地域は、池上曽根遺跡や小金塚古墳、信太山丘陵の公園があるので、これらを活かしたルートマップなどで、地域の活性化を行ってはどうか。	和泉市では北部地域の活性化のため「和泉・信太の森ヒストリータウン」事業を展開しており、その一環として教育委員会文化遺産活用課ではガイドブックの刊行を行っています。Vol.1では和泉黄金塚古墳をはじめとする北部地域の古墳を取り上げ、vol.2では信太の森に伝わる「葛葉伝説」を取り上げています。 こうした刊行物を活用しながら、今後も歴史と伝説の息づく北部地域の魅力を発信し、地域の活性化に努めていきます。	産業振興室商工観光担当
8	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	ふらっと立ち寄れる場所(地域での居場所)があれば、近所の人が顔見知りになれる機会にもなり、防犯・防災や高齢者の見守りにもつながるのでは？	和泉市南部リージョンセンター及び北部リージョンセンターにおいて、市民交流が図れる講座やイベントを実施します。また、町会・自治会活動の拠点となる会館整備補助制度や、地域活性化の取り組みへの支援制度もありますので、活用いただきたいと思います。	広報・協働推進室公民協働推進担当
9	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	地域コミュニティの新たな参画の方法として、例えばお買い物の配達など。北信太駅前にお店が少ない。	市内で新たに創業される方を対象に家賃や改装費等の一部を補助しておりますので、本補助金を活用いただけるよう周知・PRに努め、新たな店舗の創業支援に努めていきます。	産業振興室商工観光担当
10	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	公園がたくさんあると良いが、ボール遊びやスケボーができたり、防災に活用できる広場があってほしい。	硬いボールなど、他の利用者に危険や迷惑を及ぼすものでなければ、ほとんどの公園で小さなお子さまのボール遊びは可能です。 スケートボードを楽しめる公園については、今後の課題であると認識しています。 また一定規模の公園については、災害時に防災に活用できるように、公園整備にあわせて、防災設備を設置しています。	都市整備室公園緑地担当
11	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	趣味や特技を発表したりすることにつながる場(イベントなど)があると良い。	趣味や特技を披露する場としては、毎年秋に和泉市民文化祭を開催しています。市民の皆様から参加者を募集し、ダンス、楽器演奏などのステージでの演目や、絵画や写真などの作品展示等を行っています。 また、様々な特技やスキルを持っている人と、それを学びたい人のマッチングを図るため、人材データベースや生涯学習ポータルサイト「まNAVI」和泉市の運営を行っています。	生涯学習推進室生涯学習担当

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)【令和6年7月15日・21日開催】

NO	テーマ	提案内容	提案への取り組み方針	担当課
12	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報紙がどれだけ読まれているのか？アンケートなどをとってみてはどうか。	『第5次和泉市総合計画』の目標管理のための市民アンケート(令和5年度 調査結果)」では、「広報紙から市政の情報を得ている」という回答が最も多い、という結果でした。本アンケート等を活用しながら、引き続き、広報紙やホームページの効果測定を行うよう努めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
13	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	絵やイラストを多くしたり、レイアウトを工夫すると読みやすい。また、字が多いので二次元コード(QRコード)で掲載するようにはどうかと思う。	広報紙の紙面を文字だけではなく絵や写真を使って、視覚的にわかりやすい広報紙になるよう努めていきます。 また二次元コード(QRコード)についてもできる限り掲載するように努めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
14	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	LINEで広報紙が読めることを知らない人が多い。 町会単位くらいで、SNSの使い方教室などをやってみてはどうか？	「和泉市生涯学習出前講座」のメニューとして、「LINE・いずみメールの使い方、ホームページの見方講座」をご用意しておりますので、ご活用ください。	広報・協働推進室いずみアピール担当
15	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	Instagramは若い人、深い情報はFacebookなど、発信する情報の内容に合わせて発信ツールを使い分けてみるのも良いのでは。ほかにも、コミュニティラジオ(ネットラジオ)をやってみても良いと思う。	各ツール利用者の特色等を踏まえた情報発信に努めていきます。 またコミュニティラジオについては、本市でも以前行っていました。現在はテレビおよびYouTubeが有効な情報発信ツールであると考えており、「いずらニ」という広報番組による市政情報の発信を行っています。	広報・協働推進室いずみアピール担当
16	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	LINEについて、ChatGPTなどを活用しながら、質疑応答できる仕組みがあれば良いと思う。	便利なシステムであるかと考えていますので、導入可能かどうかについて調査・研究していきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
17	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報関係の職員が2名しかいない状況では積極的な情報発信は厳しいと思う。人を増やすのは難しいとは思いますが、なにか解決策があればと思う。	少ない職員でも積極的な情報発信ができる手法がないかどうか、調査・研究していきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
18	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	健康なまちづくり、健康No.1都市。病気にかかる人が少なくなると医療費が少なくなる。和泉市は公園や川などがあり、非常に自然が豊かなので、そのような環境をウォーキングコースなどに活用することで、市民全員が楽しみながら健康になっていくことができる町になるのではないかと。また、ウォーキングできるような環境を整えば、朝でも夜でも安全に歩ける町づくりができて、防犯の面でも安心できる町になると思う。	ウォーキングは比較的手軽に始めることができ、また生活の中で取り組める運動の一つです。 市ホームページには、ヘルスアップサポーターいずみ(健康づくり活動を推進する市民ボランティア)が企画実施したウォーキングコースなど市内のウォーキングマップや歩くときのポイントも紹介しています。 これからも地元の魅力的なスポットを活かしたコースを検討したり、ウォーキングイベントの開催など楽しみながら取り組めるよう工夫をしていきたいと考えます。	健康づくり推進室健康増進担当
19	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	どんなものを食べると健康になるなど、健康であるための知識を、市民が得る機会があったら良いと思う。	特定のものを食べると必ず健康になる食物や食事はないと考えますが、より健康的な食生活について知ることや体験できる機会を得ることはとても重要なことだと考えます。 食の健康づくりとして、市ホームページでは簡単レシピを掲載したり、食や栄養に関する個別相談も実施しています。また、和泉市民健康まつりなどの健康づくりイベントにおいては、食育や健康につながる食に関する啓発を行っています。 これからも、市民が日常生活において食の健康づくりに取り組めるように支援していきたいと考えてます。	健康づくり推進室健康増進担当
20	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	買い物等、外に出ることが困難な高齢者等に対して、農家さんなどの生産物を届ける配車サービスなどがあったら良いと思う。	生産物を届けるサービスの提供は難しいですが、現在、高齢者の移動支援サービスの充実をめざし、地域住民を主体とした移動支援サービスへの助成やおでかけ支援チケットの配布を行っていて、それらの充実をより推進していきます。	高齢介護室高齢支援担当
21	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	子育て環境として、保護者同士で相談できる場が少ない。不登校について、和泉市はサポート制度として「グリーンルーム」があるが、これを知らない人が多いのが課題だと思う。	不登校の児童・生徒をもつ保護者の交流の場として「ほっとスペースグリーン」を毎学期行っています。 また、グリーンルームにつきましては、市ホームページへの案内リーフレット掲載、ブログにて活動の様子を発信しています。 今後も広く周知できるよう、情報発信の工夫をしていきます。	学校教育室教育センター
22	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	子育てサロンというものがあるが、なかなか内容が充実できていないと感じている。こどもの居場所として児童館があればと思う。	地域の子育て支援として、子育て支援センター(市内5か所)、いずみ・エンゼルハウス(市内4か所)を設置し、こどもの年齢に応じた子育て支援や子育てイベント等を通じて親同士が交流できる場や遊びの場を提供しています。 今後も国・府の動向を注視し、こどもの居場所づくり等、子育て支援に取り組んでいきます。	子育て支援室こども支援担当

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)【令和6年7月15日・21日開催】

NO	テーマ	提案内容	提案への取り組み方針	担当課
23	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	高齢者のおでかけ支援をもっと充実させてほしい。「有償ボランティア」を活用できる仕組みがあれば良いと思う。	地域住民を主体とした移動支援サービスへの助成を行っており、それらの充実をより推進していきます。	高齢介護室高齢支援担当
24	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	多世代が集える場所があれば良いと思う。	和泉市南部リージョンセンター及び北部リージョンセンターにおいて、市民交流が図れる講座やイベントを実施します。また、町会・自治会活動の拠点となる会館整備補助制度や、地域活性化の取り組みへの支援制度もありますので、活用いただきたいと思います。	広報・協働推進室公民協働推進担当
25	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	SNSなどデジタル媒体で広報紙を読む人は若い人が多いと思う。一定の年齢でラインが引かれて、デジタルリテラシーに差が出てくると思うので、ターゲットに合わせて発信媒体を変えてはどうか。	デジタル媒体・紙媒体のどちらかに限定することなく、受け取り手のニーズに応じた情報発信を行っていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
26	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報紙について、情報がたくさん詰め込まれすぎて読みにくく、自分にとって必要な情報を探しにくい。対策として、大多数の人が必要な情報(例えばお得情報)などは表紙にインデックス表示するなどしてはどうか。	表紙等のリニューアルについて検討していきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
27	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	デジタル媒体で広報紙を読むことができるが、32ページもあるのでめくらないと思う。SNSでは、自分に関連する情報や地域に関連する情報が届く、というような仕組みができれば良いと思う。	積極的な情報発信ができる手法がないかどうか、調査・研究していきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
28	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報紙について、全体的にお役所言葉が多く、意味が分かりにくいと感じている。	制作側と各担当課での「お役所言葉」ではなく、一般的に伝わりやすい言葉で表現するように努めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
29	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	市民が参画できる広報紙であることが重要。広報紙に、自分が撮影した写真や自分の意見が掲載されるとか、自分の名前がでるとか、そのようなページの充実も必要ではないか。	現在、広報紙では、市民参加企画ページ「HALLO IZUMI BABY」にて、市民の方から応募いただいた「和泉市で生まれた赤ちゃん」を掲載しております。そのほかにも、なにか市民参加の企画ができないか、他市事例の調査・研究を行っていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
30	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	南部地域は非常に魅力的な地域なので、他の地域の人にも知ってもらいたいと思うが、現実的な課題として交通インフラがあると思う。遠いところまで通うのが大変。	南部地域においては、多様な交通手段の組み合わせを行うことで持続可能な公共交通の維持・確保に努めます。	都市政策室交通担当
31	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	最近夫婦共働きが多いので、地域の中に雇用があることが重要だと思う。そんな労働環境があれば良いと思う。	本市では無料職業紹介事業を実施しており、企業からの求人票受付、求職者への職業紹介を行っています。地域での雇用確保のため、市内企業から求人情報を提供いただけるよう、努めていきます。	くらしサポート課
32	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	若者にとっては、商業施設などがあることが大切だと思うので、商業施設を誘致できる、または逆に企業が来たいな、と思ってもらえる地域になれば良いと思う。	和泉市が企業から魅力ある地域となるよう、様々な手法等を検討していきます。	産業振興室商工観光担当
33	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	高齢者に優しいまち、みんなが普通に暮らせるまち、子育てのまち。高齢者と小さな子どもたちが交流する場がなかなかない。公園はたくさんあるが、交流できるような広さがない。法律上の課題もあると思うが、ボールが使えない、スケートボードができないなどの制約があり、使っている人が少ないと思う。	黒鳥山公園や松尾寺公園、信太山丘陵里山自然公園など大きな公園を順次整備していますので、ぜひご利用ください。かたいボールなど、他の利用者に危険や迷惑を及ぼすものでなければ、ほとんどの公園で小さなお子さまのボール遊びは可能です。スケートボードを楽しめる公園については、今後の課題であると認識しています。また一定規模の公園については、災害時に防災に活用できるように、公園整備にあわせて、防災設備を設置しています。	都市整備室公園緑地担当
34	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	福祉関係の人が交流・相談できる場がないので、そのような場があると良い。	本課所管分では、市内8か所で総合的な福祉の相談を受け付けているコミュニティソーシャルワーカー(CSW)は、定期的にCSW同士が集まり意見交換や情報共有を行っています。	福祉総務課
35	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	不登校の子どもへの対応として、高齢者の経験を活かした取り組み・対応ができないか。	令和6年度より、各中学校の「校内教育支援センター(不登校生徒を支援する教室)」にボランティアサポーターを派遣しており、登録者を募集しています。	学校教育室教育センター
36	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	ハンディキャップのある人も自信をもって出ている地域づくりが必要だと思うので、南部地域にも総合福祉会館があれば良いと思う。	和泉シティプラザ内の保健福祉センターでも、高齢者や障がい者の方を対象とした教養講座等を開催しております。	福祉総務課

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)【令和6年7月15日・21日開催】

NO	テーマ	提案内容	提案への取り組み方針	担当課
37	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	和泉市には産業廃棄物処理施設があるので、空気汚染などの環境問題がある。	大気汚染などの環境問題が発生する場合は、関係法令を所管する大阪府と連携のうえ、適切に対処していきます。	環境政策室環境保全担当
38	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	コミュニティバスの利用料が高い。年金のみで生活している人にとっては移動手段として使いにくく、地域から出ていきにくい。	現在、高齢者の移動支援サービスの充実をめざし、地域住民を主体とした移動支援サービスへの助成やおでかけ支援チケットの配布を行っていて、それらの充実をより推進していきます。	高齢介護室高齢支援担当
39	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	南部地域には関西トランスウェイスポーツスタジアムがある。この施設は他の地域からの利用者もあり、活性化していると思うので、もっと活用して欲しい。例えば「市民デー」など、地域住民に無料開放してもらえる日を設定するなどはどうか。	施設の更なる活性化に向け、より効果的な活用方法を調査・研究していきます。	生涯学習推進室スポーツ振興担当
40	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	横山小学校跡地について、売却せずに、高齢者等が活用できる施設として活用して欲しい。	校舎等を除却の上、売却することを基本としつつ、市南部地域の定住・活性化の観点から、民間利便施設、住宅、広場機能等幅広く様々な活用方法について、民間事業者の提案等を調査し、今後の利活用方針を検討します。	政策企画室政策・資産マネジメント担当
41	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報紙に、市長が毎月話すページがあれば良いと思う。	「市長コラム」として、年に4回程度、市長が市政情報等を紹介するページがありますので、ご覧ください。	広報・協働推進室いずみアピール担当
42	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報紙について、二次元コード(QRコード)がもう少し色々なところに活用されていれば良いと思う。	広報紙の紙面を文字だけではなく絵や写真を使って、視覚的にわかりやすい広報紙になるよう努めていきます。 また二次元コード(QRコード)についてもできる限り掲載するように努めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
43	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報紙について、今はDX化が進んでいるので、将来的には、デジタル媒体をメインにして、ホームページやアプリ(カタログポケット)で読む時代になると思う。紙媒体での発行を希望する人は、市役所などに取りに行く、というスタイルもありだと思う。	デジタル媒体・紙媒体のどちらかに限定することなく、受け取り手のニーズに応じた情報発信を行っていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
44	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	広報紙について、プレゼントコーナーなど、市民の方がページをめくりたくる企画を入れて欲しい。「読まないで損」というイメージもついて、読んでもらえるようになるかもしれない。	過去に何度か、市公式LINEでのプレゼントキャンペーンを実施し、その案内を広報紙に掲載しました。同じような取組みについて再度の実施ができないか等、検討を行っていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
45	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	SNSについて、どのくらいの人が見ているのか？を把握する必要があると思う。開封率などを見て、どのような内容なら見てもらっているのかを計測してみたい。	各種SNSの開封率を確認の上、配信内容等について検討を行っていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
46	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	今の若い人はLINEよりもInstagramを使っている。登録者数の増加施策として、Instagramで「和泉市の栄えスポット」を投稿してもらって、「市長賞」などをプレゼントする企画をやってみてはどうか。	各SNS利用者の特色等を踏まえた情報発信に努めていきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
47	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	ホームページについて、トップページの「市章」が固いイメージを持たせるので、明るくするなど、柔らかなイメージにできれば良いと思う。	現在の市ホームページは、色やデザインについて市章の色である「緑」を基本に統一しています。現在は予定がありませんが、ホームページをリニューアルする際には、いただきましたご提案を踏まえつつ、デザイン等を検討していきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当
48	どうしたら伝わる？ 広報紙・ホームページ・SNSでの情報発信	LINEについて、チャットボットを使って、自動で質疑応答できるようにしてみたい。また、答えてくれるアバターが選べたりすると楽しい。	便利なシステムであるかと考えていますので、導入可能かどうかについて調査・研究していきます。	広報・協働推進室いずみアピール担当

市長とのタウンミーティングで出された意見(要旨)【令和6年7月15日・21日開催】

NO	テーマ	提案内容	提案への取り組み方針	担当課
49	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	これからの若い人にとっては子育ての問題が重要だと思う。子育てのしやすいまちづくりとしては、保育料や給食費の無償化や、公立保育園を増やしてほしい。	●学校園管理室保健給食担当 令和5年度及び令和6年度において、物価高騰に伴い必要となった学校給食費の増額分について補助を行い、保護者負担の軽減を図っています。学校給食費の無償化については、多くの財源を要するため安易に回答することは難しいですが、引き続き、状況に応じて必要な措置を検討していきます。 ●こども未来室幼保運営担当 保育料については、公立・私立ともに0歳児から2歳児は非課税世帯は無償化、3歳児以上は全ての世帯で無償化となっております。さらなる無償化拡充については、子育て世帯の負担軽減という点で有効な施策のひとつと認識するものの、相応の財政負担も伴うことから、他事業とのバランス等を勘案しながら十分な検討が必要と考えています。 また、公立保育園については、「公立保育所・公立幼稚園のあり方」及び「公立保育所・公立幼稚園のあり方に基づく整備方針」で拠点園を残して統廃合民営化を行う計画となっていますが、引き続き保育施設に入所しやすい環境づくりに努めていきます。	学校園管理室保健給食担当 こども未来室幼保運営担当
50	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	職住近接という視点から、南北の移動を充実させる手段として、LRT(Light Rail Transit／路面電車)を導入できないか。関西国際空港も近いので、この立地を活かして、大企業を誘致し、交通網の開発などを進めることができないか。	公共交通事業者では、コロナ禍以降、交通サービスを一定の水準に確保することが厳しい状況であり、新たなLRTの導入ではなく既存の鉄道沿線を中心としたまちづくりの推進を図り公共交通サービスの維持に努めます。	都市政策室交通担当
51	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	文化的なまちづくりという視点から、図書館資料の貸出の充実ができないか。	令和4年度に策定した「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」に基づき、市立図書館の蔵書の充実に取り組んでいます。特に、家でも外出先でも、幅広い年代の方に図書に触れていただけるよう電子図書館の充実に取り組んでおり、現在では14,730点(令和5年度末時点)の蔵書を揃えています。今後も、図書館サービスの充実に向けて、様々な方策を展開していく予定です。	生涯学習推進室生涯学習担当
52	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	歴史を感じられるまちづくりという視点から、池上曽根遺跡や久保惣記念美術館のPRをもっと大々的に行うことで、来訪促進を行うことができないか。	池上曽根遺跡も久保惣記念美術館も和泉市のランドマークとして今後もPRしていき来訪促進を目指していきたいと考えています。	文化遺産活用課
53	エンジョイシティづくり 100周年の和泉市ってどんなまち？	和泉府中の駅周辺が閑散としているので、もうちょっと活性化できる施策があればと思う。	和泉市では和泉市商店連合会が実施する商店街の賑わいや活性化に資する事業に対し補助金を交付しています。和泉府中駅周辺には和泉府中駅前商店街、和泉市中央商店街、和泉ショッピングセンター、和泉府中同友店舗会の4つが商店連合会に加盟しており、今年度は和泉府中駅前でいずみ音楽祭を計画されており、多数の来訪が見込まれています。今後も、賑わいの創出に向けた事業の検討に努めていきます。	産業振興室商工観光担当